

1 3 2 8	<p>「8月25日（木）はれ N 車の往来激しい国道444号。 ここはかつて、有明海で最も古い堤防でした。</p>
1 3 3 9	<p>N その道の片隅に小さな神社が大切に祀られています。</p>
1 3 4 5	<p>N 年に一度行われる「潮塞観音祭り」。</p>
1 3 5 8	<p>N 大正時代に起こった大きな台風の被害をこの 観音堂が最小限に食い止めたと言われています。</p>
	<p>○ 今この祭りに込める思いとは？</p>
	<p>(O) 「農家の立場から『台風被害がないように』という思い 豊作を願って」</p>
1 4 2 8	<p>N 小さな社に地元の人々の熱い思いが託されています。</p>
1 4 3 8	<p>N 白石では「今どきの子どもたち」にも、ふるさとを 愛する気持ちがしっかり根付いているようです。</p>
	<p>(O) 「大人だけではなく『伝承』は 子どもたちに引き継いでいかないといけない 子どもたちの演奏大会を開いて46回になる」</p>
1 5 0 5	<p>N 威勢のいい演奏が始まりました。</p>
1 5 1 1	<p>N 九州北部に伝わる民俗芸能「浮立」。 田楽や念仏踊の要素がふんだんに盛り込まれ、 地域ごとに独自の進化を遂げてきました。 子どもたちは、「浮立」を通して、自然に「ふるさと愛」 を身に着けてきたのでしょう。</p>

	N 片淵縁 <small>かたがらえだじ</small> くんの姿も見えます。	1 5 3 9
	N 子どもたちが元気だと何だか大人まで楽しくなりますよね。	1 5 4 4
	N 威勢のいい掛け声は、日が沈むまで鳴り響きました。	1 5 5 6